

ぽんちゃんのセンター試験の思い出

もうすぐだね～、センター試験。最後の仕上げの段階だから、体調を整えることを第一に考えるといいかな。ぽんちゃんの体験談が少しでも何かのお役に立てれば嬉しいので、今号ではそれを書いてみることにしたよ。

ぽんちゃんはセンター試験の前身の「共通一次」一期生だった。1つ上の先輩までは、国公立大学は1期校、2期校という分類があって、試験日が違うから、例えば東大と横浜国大を両方受けるってできたんだよね～。でも共通一次になってからは、1つしか受けられなくなりました。また当時は私立大学は参加してなかったんだよ。そして全員が5教科7科目を受けました。

1 時間に余裕を持って起きて、かなり早めに会場に着いておくといいです。

ぽんちゃんが高3の年は一次試験と二次試験の日だけ、大雪が降ったんだ。天気の様子は気まぐれ。だから急な気候の変化にも対応できるように、防水のアウター・手袋や長靴とかの用意があると安心。

当時1日目は正午頃から試験開始だったんだ。で、午前中落ち着かなくて、家のそばで雪合戦やってから来た38ルームの同級生もいたんだよ(笑)その頃は土曜日でも学校あったから、ほとんどの人が公欠でした。前日の金曜日でも6限まで普通に授業。3学期も学年末試験があったよ。最後の英語の試験は、訳すと、卒業する私たちへの餞の言葉だったんだ。(涙)

会場は事前に下見に行っておくといいいけど、もし行ってなければ早く着いて探すこと！大学はかなり構内がわかりにくくなってることもあるからね。千葉大の西千葉地区の場合、JR 西千葉駅から最も近い南門から入ると、奥の方の校舎に行くには徒歩10分くらいかかるからね。医学部とかがある亥鼻地区は、新しいビルがたくさん建ってて、やはり構内はとても広いので要注意！電車等の遅延も考慮しておくべき！韓国じゃないから遅れそうな受験生をパトカーは送ってくれないしね。笑

2 ごはんは消化によいものを！

ゲン担ぎで「かつ丼」食べるとかあるけど、あまり脂っこいものじゃない方がいいような気がします。もたれて気持ち悪くなると困るし。まずはご飯で脳にブドウ糖をあげよう！

3 会場の空調により、調節できる服を用意できるといいいね。

会場は場所によっては寒かったり暑かったりする。寒い場合を考慮して1枚羽織るものやホットカイロ、あったかい靴下とかもあるといいいかもね。ぽんちゃんはたくさん着込んでいたらものすごく暑かった。暑いと頭がぼーっとしちゃうから、もし暑かったらヒートテックとかを休み時間に脱ぐとか調節するといいいね。

4 問題用紙は最後までめくるべし！

何当たり前のこと言ってんの？って思うかもしれない。けど、実際にぽんちゃんはめくり忘れた。(泣)最後の英語の試験。やけに早く終わったなあと見直しをした。でも見直しが終わっても、まだ5分残った。それで「暇だから、ドイツ語やフランス語の問題でも見てるか」と思って次のページをめくったら、なんとまだ英語の長文が54点分も残っていた！！焦ってとりあえず適当にマークを塗った。後で見たら、長文もそんなに難しくなかった…。うえ～ん、と泣いても後の祭り。夜担任から電話がかかってきた。「どうだった？」「英語の問題やり忘れちゃった」「おまえはバカか！」とあきれられちゃいました。